



【教育理念の要旨】

- 看護の社会的役割を担うことのできる専門職者の育成
- 人間の生命や生活の質を多角的に理解し尊重できる豊かな人間性を育み、科学的思考に基づいた看護を実践できる基礎的能力を育成
- 生涯にわたって学び続ける態度を身に付け、地域における保健・医療・福祉の発展充実に貢献する人材の育成

【目指すべき看護専門学校の姿】

恵まれた自然環境と地域との連携協力、ならびに県立病院機構が運営する学校としての強みを活かして、特色ある学校創りを推進する。豊かな感性と看護実践の基礎的能力を有する看護師を育成し、木曾病院はじめ看護師確保が困難な地域を支える医療チームの一員となる卒業生を継続的に輩出する。

【平成 26 年度主な取組み】

<p>☆1 特色あるカリキュラムの提供と看護の基礎的実践力の育成</p> <p>○感性を磨き地域への愛着を育む、自然や地域文化を取り入れた授業、人間関係作りに関する授業</p> <p>○地域に親しみ、コミュニケーション力をつける課外活動</p>	<p>全カリキュラム 104 単位、3015 時間中 1 年次 38 単位 1050 時間を実施</p> <p>・本校独自の科目 科学的思考の基盤「環境論」、人間と生活・社会の理解「人間関係論」等展開</p> <p>・「看護の日」PR 活動(5 月)、木曾の食育を学ぶ「ほう葉巻作り」(7 月)を実施</p>
<p>☆2 教員の安定的確保及び教育力の向上</p> <p>○機構職員を計画的に専任教員講習会へ派遣養成</p> <p>○適任者を教務主任講習会への派遣</p> <p>○臨床実習指導者の計画的養成</p>	<p>・平成 26 年度講習会に派遣(小児・成人看護学領域)</p> <p>・平成 27 年度 6 月～12 月教務主任講習へ派遣決定</p> <p>・各実習施設の協力で増員中</p>
<p>☆3 学生確保に向けた取組</p> <p>○オープンキャンパス(7 月、8 月)</p> <p>○ホームページでの情報発信</p> <p>○高等学校訪問、ガイダンス参加、模擬授業、出前講座</p>	<p>・在学生協力で 2 回実施、156 名参加</p> <p>・ブログで学習や行事の様子を月 3 回程度紹介</p> <p>・進路相談会・模擬授業等 9 回、出前授業 1 回</p>
<p>☆4 学生の学習環境及び生活環境の整備・充実</p> <p>○司書の採用(週 1 日)による利用しやすい図書室創り</p> <p>○図書・教材等の充実</p> <p>○学生宿舎の整備</p> <p>○駐車場整備</p>	<p>・司書活動は、図書整理、新刊紹介、看護大学及び看護協会との連携、高校との相互貸借制度開設</p> <p>・木曾看護専門学校からの図書・教材引継ぎ、木曾郡町村会、木曾町商工会等からの寄附を受け図書購入</p> <p>・平成 25 年度 10 戸確保、平成 26 年度は町の支援により 18 戸を建設</p>
<p>☆5 地域関係団体等と連携・協力体制の構築など</p> <p>○地域行事への参加協力</p> <p>○キャンパスを共有する高等学校との交流</p> <p>○木曾病院との連携</p> <p>○学校評議員を委嘱、学校評議会の発足</p>	<p>・木曾町の行事「だぞやい木曾」(9 月)、「雪灯りの散歩路」(2 月)に有志参加、町の方々と交流</p> <p>・高等学校主催の「自然観察会」(9 月)に参加</p> <p>・木曾病院防災訓練への参加</p> <p>・学校評議員会(6 月)では、地域関係団体の代表者など 10 名を評議員に委嘱し、意見を聴取</p>

特色あるカリキュラムの提供(実施状況)

「環境論」(1 単位 30 時間 1 年次 前期)
 目標：木曾の風土を形づくる森林をとおして、環境と人間の実践的に体得する。
 内容(一部)
 ○環境と人間：森林の中で五感を磨く
 ○里山の環境：学校周辺の里山歩き
 ○森林と健康：赤沢美林で森林セラピー



【学生の感想】
 ・普段の生活ではあまり感じることのできない音・匂いや光を感じることができた。
 ・知ることより、体験から先に感じることで、新しい発見があり、わくわくした気持ちで歩けた。
 ・感覚が敏感になってどんどん見えてくるようになった。
 ・森をとおして感じた「生命の豊かさ」を看護で患者さん達と接する時に活かしていきたい。

「人間関係論」(1 単位 30 時間 1 年次 前期)
 目的：人間の相互作用について理解し、看護職者として人間関係を築く多様なアプローチについて学ぶ。
 内容(一部)：学外授業(盲・ろう学校)
 目標：視覚障がい・聴覚障がいの理解と、視覚障がい者・聴覚障がい者との関わり(人間関係を築く基本的な姿勢、コミュニケーションの方法、配慮事項等)について、幼児・児童・生徒との交流等をとおして体験的に学ぶ。

【学生の感想】
 ・聴覚障がいのある人と接するのは初めてで緊張したが、身体のどこかが不自由なだけで、他は同じ人間であることがわかった。
 ・目隠しをして歩くことは、とても怖く難しかった。
 ・看護で声かけは重要だが、視覚障がいのある人に声かけすることは、より大切だと感じた。



課外授業・課外活動等の実施状況

木曾の食育学習「ほう葉巻作り」(1 年次 前期)
 目標：①地域の郷土食作りをとおし、木曾地域の食への理解を深めることができる。
 ②グループメンバーと協力して調理ができる。



【学生の感想】
 ・グループ発表をとおして木曾地域のほう葉を活用した食を知ることができた。
 ・分担を決めて話し合いながら進めることができた。

地域行事への参加(9 月、2 月)
 目標：①地域の人たちとの交流をとおし、地域を理解する。
 ②コミュニケーション力を養う。



【今後の課題】
 ・複数学年のカリキュラム調整及び実習体制の整備 ・基礎学力向上へのサポート体制の整備
 ・看護技術力を養う教材の段階的整備 ・教員の計画的育成と教育力の向上
 ・学生確保(入学生数と基礎学力)につながる広報活動と学校認知度の向上、入学試験方法の検討
 ・教育自己評価の仕組みの検討

	H26 年度 (試験 4 回)	H27 年度 (試験 2 回)
出願者	136	98
受験者	124	86
合格者	43	34
入学者	33	23

1 期生中 1 名は後期休学後に復学
 平成 27 年度 1 年生は 24 名

